

平成 29 年度（2017 年度）

三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価

三鷹市立図書館

点検・評価の実施について

1 点検・評価の目的

- (1) 三鷹市立図書館（以下「図書館」という。）は、「三鷹市立図書館の基本的運営方針（以下「基本的運営方針」という。）」に基づき、具体的な数値目標及び図書館活動について点検・評価を行い、課題や取り組みの方向性を明確にし、めざす図書館像『人と本と情報がつながり、市民に役立つ身近な図書館』の実現をめざします。
- (2) 図書館は、図書館が行った点検・評価に対して三鷹市立図書館協議会（以下「協議会」という。）に評価・意見を聴取することにより、図書館サービスや実施する事業、図書館の管理運営に関する実績について、その課題解決や、より質の高い取り組みの方向性をめざします。
- (3) 点検・評価に関する報告書を作成し、広く市民に公表することで、図書館サービスの向上を図ります。

2 点検・評価の対象

基本的運営方針に掲げている①数値目標、②図書館活動に対する評価について点検・評価を実施します。

3 点検・評価の実施方法

- (1) 点検・評価は、前年度の図書館の管理運営に関する実績、図書館サービスや事業の取組状況を総括するとともに、今後の課題や今後の方向性を示すものとし、毎年度1回実施します。
- (2) 図書館活動の取組状況を取りまとめ、協議会委員と図書館事務局が意見交換を行った上で、協議会の評価・意見を聴取します。
- (3) 協議会から協議会委員の評価・意見を取りまとめた意見書を受領し、点検・評価結果とともに、広く市民に公表します。

【参考法令等】

図書館法（昭和25年法第118号）

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

1 数値目標に対する点検・評価

	2016年度 実績	2017年度 実績	前年度比	目標値 (2022年度)	達成率
図書館の利用者数 (人)	957,307	895,508	△61,799	1,005,000	89.1%
図書館の資料数(点)	852,602	915,459	62,857	1,000,000	91.5%
貸出点数(点)	1,594,171	1,666,672	72,501	1,750,000	95.2%
予約点数(点)	281,042	297,697	16,655	307,000	97.0%
有効登録者数(人)	43,634	43,798	164	48,000	91.2%

※数値目標は(連携)井の頭コミュニティ・センター図書室の実績も含む。

図書館による 自己評価	図書館の利用者数	平成28年度末に下連雀図書館(利用者数は約11万人程度)が閉館したことから利用者数減は見込まれていた。平成29年度は、下連雀図書館の閉館により本館、三鷹駅前図書館及び移動図書館の利用者が増加し、また、連携開始した井の頭コミュニティ・センター図書室(以下「井の頭CC図書室」という。)の利用者数が32,013人と想定以上の利用実績となったことから利用者数は前年度比61,799人減に留まった。
	図書館の資料数	継続的に図書資料の購入、保存に努めたほか、閉館した下連雀図書館蔵書を南部図書館みんなみ中心に所蔵替えをした。また、連携を開始した井の頭CC図書室の蔵書も相互利用できる蔵書となり、資料数が増となった。
	貸出点数	利用者数は前年度比61,799人減であった一方で、貸出者数は約2万人の増となり、貸出点数及び予約点数ともに増加となった。
	予約点数	これは、図書館サービス網の再編により図書館サービスを利用できる環境が拡充したことによるものと考えられる。
	有効登録者数	有効登録者(過去2年以内に貸出実績がある利用者)数は、近年減少傾向であったが、図書館サービス網の再編により、より図書館サービスを利用できる環境が拡充したことにより減少に歯止めをかけ、微増とすることができた。今後は、更なる情報発信により市民の利用促進に努め、有効登録者数を増加させることで、数値目標のすべての実績増加に取り組んでいく。

2 図書館活動に対する点検・評価

■「知る」「調べる」「学ぶ」を支える図書館

事業項目	図書館施設の整備
取組内容	・市民が快適に利用できる施設・設備の維持及び滞在・交流型施設へのリニューアル
取組状況	利用者が安心・安全・快適に利用できる図書館をめざすため、東部図書館の耐震補強工事、空調設備等改修工事、滞在・交流型施設へのリニューアルに向け、関係部署と調整を図り、実施設計を行った。東部図書館の大規模改修に向けた準備とともに、本館児童コーナー窓へのガラスフィルムコーティング、西部図書館中庭ベンチの改修、三鷹駅前図書館のウォータークーラーの入替など利用者が日常的に利用する設備等の改修も行った。引き続き、適切な施設の維持管理に取り組んでいく。

事業項目	図書館サービス網の整備
取組内容	・井の頭コミュニティ・センター図書室との連携及び移動図書館ひまわり号の有効活用による市民の読書活動を支える図書館
取組状況	井の頭CC図書室との連携については、パートナーシップ協定に基づき協議・検討、準備を進め、図書館分館と同様の機能を持った地域の図書館として7月20日から連携を開始した。同図書室では新たに司書が配置され、利便性の向上から連携開始後の利用実績は、来館者数 32,013 人、貸出者数 15,369 人、貸出点数 49,387 冊となり、8月～3月実績を前年度実績と比較すると貸出者数は2.94倍の14,931人、貸出点数は2.85倍の47,765冊と大幅な増加となった。移動図書館ひまわり号は、武蔵野美術大学と協働して製作したラッピングによる新車両で4月11日から巡回日数を週3日から4日に増やし、また、巡回ステーションを13か所から19か所に増設し、巡回を開始した。貸出者数9,031人（前年度比1.38倍）、貸出点数36,201冊（前年度比1.34倍）の実績となった。図書館サービス網、図書館活動の積極的なPRを行い、市民の利用促進に努める。

事業項目	図書館資料の充実
取組内容	・図書館資料収集方針に基づく図書館資料の充実と内容の充実 ・電子書籍の導入に向けた検討
取組状況	図書館資料収集方針に基づき、選書・購入・保存に取り組んだ。また、資料の老朽化、内容の改訂等のある資料の除籍を行った。更なる市民の課題解決、豊かな読書活動を推進するために、収集方針等の改定に取り組んだ。引き続き、図書館資料数に加え、更なる蔵書内容の充実に取り組んでいく。

事業項目	地域資料及び行政資料の収集
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料及び行政資料の網羅的な収集及び保存 ・地域資料などのデジタル化の推進
取組状況	行政資料の収集については、総務部相談・情報課と調整し、庁内連携手法（相談・情報課で集約し図書館に送付する。）を確立したことにより、所管課が発行する計画、リーフレット等を適切に図書館で所蔵することができ、市民の利用に供する環境を整えることができた。

事業項目	開館日及び開館時間の検討
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての世代が利用できる開館日及び開館時間の検討
取組状況	図書館利用の拡充については、利用者の利便性向上と読書活動の推進を目的とし、拡充手法による必要な体制、経費等の洗い出しを行った。平成30年度は、本館、三鷹駅前図書館及び井の頭CC図書室の夜間開館の実績分析、近隣市の実績把握に努める。

事業項目	レファレンスサービスの充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス資料の充実 ・的確なレファレンスサービスの実施
取組状況	三鷹図書館（本館）資料室を中心に、レファレンス資料の充実に向け選書・購入を進めた。的確なレファレンスサービスの実施に向け、大学教授を講師に招き、実践的な研修を開催し、職員のレファレンス力向上に努めた。レファレンス力向上研修は、継続的・計画的に行い、人材育成に取り組んでいく。

事業項目	情報通信技術（ICT）の進展に対応するサービスの提供
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性を向上させる新たなサービスの研究 ・インターネット端末及びデータベース端末等の利用促進
取組状況	引き続き配信型視聴覚資料を提供するとともに、平成29年4月27日から国立国会図書館デジタル資料送信サービスの提供を開始し、約150万点のデジタル資料が閲覧できる環境を三鷹図書館（本館）資料室に整え、利用者にサービス提供を開始した。また、図書館システムの利便性向上に向け、調査研究を進めていく。

■すべての人に読書の楽しみを広げる図書館

事業項目	読書の楽しみを提供する図書館活動の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・講習会、図書館フェスタ・みんなみフェスタなど読書の楽しみを広げる事業の実施 ・多様なテーマの展示図書の実施
取組状況	<p>太宰治をはじめとする三鷹にゆかりのある文学者に関連する展示や国立天文台協力による天文関連の展示（みたか太陽系ウォーク関連展示）を行うほか、児童文学作家 神沢利子さんから寄贈を受けた貴重な資料の特別展及び講演会を開催した。図書館資料との出会いの場を創出するため、各館でテーマ図書に取り組むほか、企画経営課、高齢者支援課、健康推進課と共催し、展示及び図書コーナーを設置した。図書館フェスタ、みんなみフェスタでは、人と人、人と本がつながるイベントを開催した。三鷹市文庫連絡会と共催して3回開催した講習会では、多様な講師による、充実した講演会を開催した。平成30年度も引き続き、読書の楽しみを提供するイベントの開催を継続するとともに、東部図書館においても読書の楽しみを広げる事業の拡充に向け、取り組んでいく。</p>

事業項目	すべての人に届くサービスの充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館ひまわり号の巡回 ・配達サービスの実施 ・対面朗読サービスの実施 ・大活字本やDAISY図書などの充実
取組状況	<p>移動図書館ひまわり号は新車両に更新し、巡回日数の増、巡回ステーションの増設により、きめ細かな図書館サービスの提供に取り組んだ。来館困難者の読書活動を支援するために配達サービスを開始し、利用登録者へ本を届け、読書の機会を提供することに取り組んだ。障がい者サービスでは、対面朗読の実施、DAISY図書作成、大活字本の購入、サピエ図書館の活用により充実を図った。今後は、関係部署との連携を強化し、図書館利用困難者へのサービス利用に努める。</p>

事業項目	『みたか子ども読書プラン 2022』の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童書、絵本、紙芝居、ヤングアダルト図書などの資料数の拡充及び内容の充実 ・子ども向け読書活動推進事業の実施 ・「中学生・高校生世代」向け読書活動推進事業の実施
取組状況	<p>おはなし会、映画会、科学あそび、わん！だふる読書体験の開催など、子どもの感動、知る喜びを刺激する事業を実施した。乳幼児向けの読書活動の啓発では、民生・児童委員による「乳幼児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」においてブックスタート事業を継続実施するほか、健康推進課が開催する妊婦を対象とした母親学級で乳幼児からの読書の大切さ、保護者と乳幼児の図書館活用法の紹介を積極的に行った。家庭での読み聞かせを推進するための講習会や地域で読書推進活動を行っているボランティア育成講座などを開催した。学校、学校図書館との連携を強化するために連絡会を開催するほか、調べ学習用図書の充実に取り組んだ。また、学校や学童保育所、幼稚園、保育園など子育て施設に対するリサイクル図書の提供を積極的に行い、延べ51団体、3,051冊を提供した。ボランティアやボランティア団体を養成するためのスキルアップ研修や情報提供に取り組んだ。</p> <p>「中学生・高校生世代」向け読書活動推進事業では「みたかとしょかん図書部！」が主体的に読書啓発活動、テーマ図書の展示、POP作成、館内掲示物の作成などの広報活動、ビブリオバトルなどを開催した。</p> <p>引き続き、多様なニーズを把握し、『みたか子ども読書プラン 2022』の推進に取り組んでいく。</p>

■市民とともに歩み、交流する図書館

事業項目	図書館サポーターの養成と活動の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の充実及び活躍の場の拡充 ・協働と交流の活動の推進
取組状況	<p>図書館サポーターは、本館の三鷹図書館サポーター、南部図書館みんなみのみんなみサポーターが定期的に活動している。みんなみサポーターは中学生向けや大人向けのおはなし会の実施、三鷹図書館サポーターはみんなみサポーター向けに本の修理の研修の実施など活動内容の充実を図った。また、東部図書館のリニューアルを機に東部図書館サポーターの設立に向けた懇談会を開催し、学校法人武蔵野美術大学教授をコーディネーターにお迎えし、これからの東部図書館のあり方やサポーター活動について意見交換を深めた。更なる図書館サポーターの活動の活性化のため、情報共有、活動の場の拡充に取り組んでいく。</p>

事業項目	ボランティアの育成と活動の支援
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア向け講演会及び講習会の実施 ・活動する場の提供と連携事業の実施
取組状況	おはなし会などで活動するボランティア、障がい者向けサービスで活動するボランティアに対して、スキルアップ講座を開催するほか、既存のボランティア団体の活動する場の提供に加え、新規ボランティア団体への活動の場の提供に取り組んだ。

事業項目	「みたかとしょかん図書部！」の活動の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル、交流イベントの企画・運営 ・同世代への情報発信
取組状況	ヤングアダルト世代向けには「みたかとしょかん図書部！」が同世代に向けた情報発信、ビブリオバトル、東京都立多摩図書館ツアーの開催など多様なイベントを実施した。

事業項目	市民団体との連携と活動の支援
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三鷹市文庫連絡会との協働事業の実施 ・ボランティア団体の活動紹介
取組状況	三鷹市文庫連絡会とは協働事業を推進し、多様な講師を招いて、YA文学やかがく絵本の楽しみ方などの講演を開催した。ボランティアのスキルアップ講座では、相互の活動を理解するための情報提供の機会を設けた。引き続き、市民団体等との連携を強化し、市民の読書活動の推進に取り組んでいく。

事業項目	市民との協働と交流による事業の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型事業の充実 ・人と人が交流する事業の充実
取組状況	<p>図書館サポーターとの協働事業である図書館フェスタ、三鷹図書館サポーターが主体的に企画運営する「春のガーデンカフェ」を開催し、人と人が交流する機会を作り出した。また、これらのイベントには地域で活動するボランティアや大成高校の生徒の協力を得た開催となり、市民参加型事業の充実を図った。</p> <p>図書館サポーター おはなしどころによる第二小学童保育所、にじいろ下連雀保育園、にじいろ新川保育園などのおはなし会の実施などアウトリーチ活動にも取り組んだ。</p>

■市民の期待に応える図書館

事業項目	図書館サービス網の更なる充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・井の頭コミュニティ・センター図書室との協働による読書活動の推進 ・移動図書館ひまわり号の巡回ステーション及び巡回予定の継続的な見直し
取組状況	平成 29 年 7 月 20 日から実施した井の頭 C C 図書室との連携、平成 29 年 4 月から移動図書館ひまわり号の巡回日数・巡回ステーションの増により、きめ細かな図書館サービスの提供を行い、利用実績の数値としても現れている。利用者のニーズ把握に努め、図書館サービス網の更なる充実に向け取り組んでいく。

事業項目	市民のニーズに対応する人財の育成
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識の習得に向けた職場研修の実施 ・外部機関による実務研修への派遣 ・司書資格取得のための支援
取組状況	レファレンス力向上研修の開催のほか、専門的知識の習得に向けた職場研修を開催した。また、外部機関が開催する実務研修、講演会にも積極的に派遣した。図書館職員としての必要な知識を習得し、司書資格取得のため明治大学が開催する司書講習に職員を派遣した。引き続き、職場内研修（O J T）に加え、職場研修、派遣研修を活用し、継続的・計画的に人財育成に取り組んでいく。

事業項目	学校図書館との連携
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・合同研修の実施 ・リサイクル図書の提供
取組状況	学校図書館司書と市立図書館との連携に向けた連絡会を開催するとともに、図書館が開催する職場研修に学校図書館司書も参加し、研鑽する機会を提供した。リサイクル図書の提供や調べ学習用図書資料の充実に努めた。今後も、子どもの読書活動の推進に向け、連携を深めていく。

事業項目	関係部署と関係団体との連携
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共催による事業や企画展示の実施 ・ 出前型事業の実施
取組状況	<p>企画経営課、高齢者支援課、健康推進課と連携し、共催による企画展示、図書コーナーを設置した。健康推進課が開催する妊婦を対象とした母親学級では、乳幼児からの読書の大切さ、保護者と乳幼児の図書館活用法の紹介を行うなど、出前型事業の拡充に取り組んだ。また、子ども家庭支援センターすくすくひろばへの出前図書館にこにこの開催、民生・児童委員の「乳児家庭全戸訪問事業」においてブックスタート絵本の配付を継続して行った。引き続き、関係部署と連携し、図書館活動の情報を積極的に発信していく。</p>

事業項目	情報発信の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な媒体での情報発信 ・ 関係部署等との連携による情報発信
取組状況	<p>図書館活動について広報みたか、市及び図書館ホームページ、図書館だより、メールマガジンなどで提供するほか、関係機関にポスター掲示、チラシ設置を積極的に行った。更に多くの媒体を活用し、情報の発信に努めていく。</p>

事業項目	点検・評価の推進と利用者意見の収集
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者懇談会の開催 ・ 利用者アンケートの実施
取組状況	<p>平成 29 年度図書館活動に対する点検・評価の実施のために検討を行った。 平成 30 年度以降に利用者アンケート、利用者懇談会の開催に向け検討する。</p>

『三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価 平成 29 年度』についての意見書

第 19 期三鷹市立図書館協議会

1 第 19 期三鷹市立図書館協議会は、6 月、7 月の定例会の場で『三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価 平成 29 年度』（以下「点検・評価」という。）について以下のとおり意見交換を行った。

2 数値目標

5 項目の数値目標のうち、最も達成度が高いのは予約点数の 97.0%であり、次いで貸出点数が 95.2%、資料数と有効登録者が 90%台であり、図書館の利用者数が 89.1%と唯一の 80%台となっている。

数値目標の多くは、このまま推移すれば第 4 次三鷹市基本計画（第 1 次改定）の目標年次 2022 年度には目標に達するであろうことが見込まれる。

なお、利用者数は、数値目標の 89.1%の達成率であり、数値目標と 10 万人以上の乖離がある。そのため、第 4 次三鷹市基本計画の第 2 次改定ではより現状を正確に分析し、この数値目標は再検討されるべきものとする。

3 図書館活動に対する点検・評価

全 21 件という多数の項目について点検し評価がされている。その中でも、井の頭コミュニティ・センター図書室との連携開始と移動図書館ひまわり号新車の運行開始・巡回ステーションの再編により、「図書館サービス網の整備」や「図書館サービス網の更なる充実」等の事業は計画どおり順調に進展し、実績も伸びている。

その他の全ての事業においても、着実に図書館の取り組みがなされているので、引き続き図書館サービスの向上に努めて欲しい。

4 点検・評価の手法

今回の点検・評価は『三鷹市立図書館の基本的運営方針』に基づき、三鷹市立図書館が初めて行ったものである。

この点検・評価は詳しく書かれていて、三鷹市民による図書館への理解に役立つ内容となっていると評価する。しかし、「図書館活動に対する点検・評価」については市民の理解を得るため具体的な活動実績を併せて示すことが適切な場合があるとする。

以上